

第8回奈良先端大男女共同参画推進シンポジウムを開催しました



日時 2015年11月19日(木)
 時間 15時10分～17時10分
 場所 情報科学研究科 情報L1講義室(1階)
 プログラム
 ・主催者挨拶
 ・講演
 高橋美恵子氏(大阪大学教授)
 「スウェーデンにみるバランスのとれた働き方」
 森田雅也氏(関西大学教授)
 「新しい働き方には新しいマネジメントを」
 ・パネルディスカッション
 ・閉会挨拶
 ※シンポジウム当日の配布資料をご希望の方は、参画室まで。

2015年11月19日(木)、男女共同参画室と情報科学研究科との共催により同研究科L1講義室において、シンポジウム「日本人の働き方、外国人の働き方、そしてワークライフバランス」を開催し、外部からの参加者も含め50名の出席がありました。

学長による開催挨拶の後、高橋美恵子氏(大阪大学教授)、森田雅也氏(関西大学教授)による講演が行われました。高橋氏からは、性別やライフコースにかかわらず人として尊厳ある暮らしが可能となる社会を目指し整備されてきた、スウェーデンの両立支援策について、森田氏からは、日本人の働き方を生活者の側面を置き去りにした無限定的な働き方から、介護や家事、育児などによる時間制約を前提とした働き方へシフトするための新しいマネジメントのあり方についてそれぞれ講演していただきました。

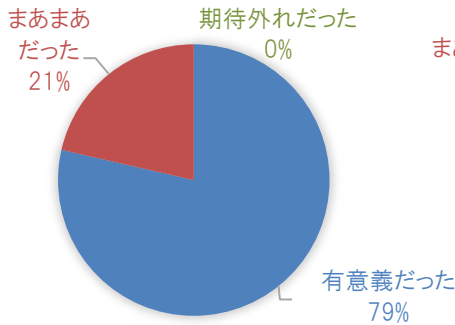


引き続き行われたパネルディスカッションでは、松原崇亮氏(本学情報科学研究科助教)から、オランダの研究者のワークライフバランスの実態に関する話題提供の後、パネリストと聴衆との間でワークライフバランスを達成するための研究環境の整備や研究成果の評価方法について意見交換が行われました。

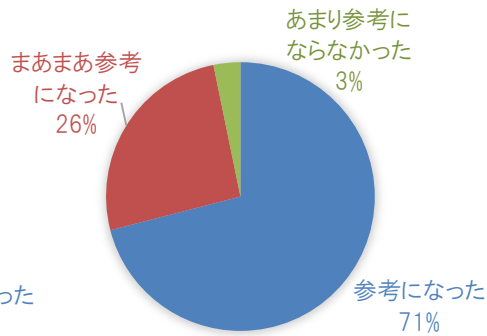
参加者からは「学長の意見が聞けて貴重な時間でした。パネルディスカッションが良かったです」「『大学での男女共同参画』とは一つの学問分野になりつつあり、社会学や経営学の専門分野の協力も必要であることがわかった」「周りのスタッフや学生の考え方(仕事の仕方)を変えるのは難しいと実感する日々ですが、これから日本の文化や習慣が変わっていけばいいなと思わせるいいシンポジウムでした」などの感想が寄せられました。

第8回奈良先端大男女共同参画推進シンポジウム アンケート結果概要

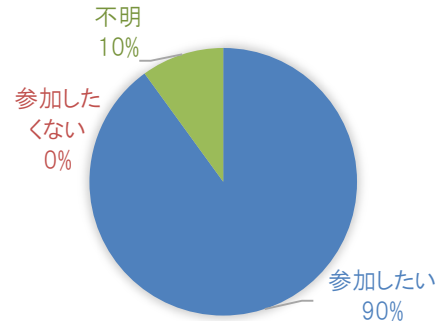
本シンポジウムの内容全体について



講演について



今後、同様のシンポジウムが開催されたら参加しますか



今後希望するテーマ

- ・男女共同参画室について様々(賛成・反対を問わず)な意見を持った人どうしのセッション、意見交換会
- ・ワークライフバランスの日本の成功事例
- ・介護とワークバランスの関係性について
- ・アカデミック以外でのワークライフバランスについて
- ・NAISTの教官による講演

第2回介護セミナーを 開催しました

2015年10月27日(火)に第2回介護セミナー「介護と仕事の両立—私の介護体験から」を開催しました。

昨年度の第1回介護セミナーでは介護保険制度の仕組みについて学びましたが、参加者から「介護の実情や、具体的な事例などについても教えてほしい」という声があったことから、今年度は介護者を取り巻く現状と実際の介護体験について「男性介護者を支援する会TOMO」代表の林政廣氏にご講演いただきました。

学内から教員と職員合わせて22名の参加があり、参加者は真剣な表情で講演に聞き入りました。

講演では、林氏が母親の介護をしながらお仕事をされたご経験から、介護と仕事の両立をはかるために心がけておられたこと、介護を通して学ばれたこと、現在携わっている介護者支援の取り組み、そして「介護休業」制度など既存の両立支援制度の持つ課題に至るまで幅広くお話をさせていただきました。



参加者からは、「負担の大きい介護の中にも“喜び”があるというお話を聞いて、自分もそう思えるような介護ができればと思いました」「個人の負担が大きい問題だと思うので職場においても柔軟な対応があると助かります」といった感想が寄せられました。